



下田中学校 研究だより No.4

2020. 8. 5 文責 石崎 千波

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり
～表現力の育成を中心として～

暑中お見舞い申し上げます。今年の梅雨明けは遅く、1学期が終了と同時に本格的な暑さがやってきました。夏休みに入りませんが、先生方に於かれましては、補習や部活指導に加え研修等で多忙な日々だと思います。この夏を乗り越え大きく成長した生徒たちを想像しながら、暑さに負けず頑張ってください。さて、今回は1学期の総括より、2学期に向けての取り組みについて掲載します。

◇1学期の総括（▲課題→☆取り組み）

- ▲自分の考えをきちんと伝えられない
単語のみの発表になる
書くことが難しい（書いて覚える。まとめる）

表現力の育成

☆根拠をもとに、自分の考えを言えたり書けたりできるように
発表や説明の仕方を教える。ある程度、様式を提示した方がよい（作成中）
説明する力をつける

- ▲読み取る力が弱い
理解力が弱い
友達の意見を聞き、批評する力が弱い

思考力の育成

☆考えさせる場面の設定 ⇒ 興味をもたせる工夫
考える手順、キーワードを手掛かりに読み取る力を鍛える
繰り返し定着させる 他者の意見を聞く力＝取り入れる力を鍛える

＊教師に「面白くしよう」という視点が必要です。何をどう提示するか？「解いてみたい」という課題を設定しましょう。

▲学習規律の徹底（甘えの克服が必要）

☆ベル着、私語、忘れ物、返事など課題は多いが、姿勢を維持させることに取り組む

↓

評価を数値化し、学年対抗で競わせる など・・・検討が必要

＊総括協議ではチーム会から全体会まで、先生方の主体的な協議への参加が見られ、たくさんの課題から改善に向けて長時間にわたる意見交換ができました。また、日々のチーム会でも研究授業に向けて指導案検討や模擬授業など、授業改善につながる取り組みができました。教材や授業構成に悩むこともあると思いますが、今後も生徒が主体的に取り組める「魅力的な課題の設定のために」教師同士の参観・アドバイスをし合いながら、2学期に向けて取り組んで行きましょう。

◇2学期に向けて検討事項と確認事項

- ・英語科の取り組み（これ単 2500 の活用）→学校組織の中で取り組む必要
- ・給食の配膳の役割を決めて、ローテーションで行う。
- ・期末テストは1学期同様に実施する（1日1教科程度）